

<コミュニティナースがたたずむ健幸な暮らしづくり>

看護師・保健師・コミュニティナース 加藤瑞穂さん

- ・福井大学医学部看護学科卒
- ・大好きな祖母（駐在保健師さん）の影響で子育てを機に地域看護の世界へ。
- ・大学病院外科病棟で癌ケアの経験
- ・2017年3人で訪問看護ステーション立ち上げ どんな患者さんでも対応する！末期、難病、看取り、医療ケア児・・・
- ・地域で看取りに関わる中で、地域の力に気付く 自分が頑張るのではなく、地域の皆さんと一緒に取り組む
- ・2019年にコミュニティナース実践講座研修修了
- ・2023年9月に独立
- ・コミュニティナースとは：ヒトとコトをつなぎ、まちを元気にする
- ・暮らしの中で、得意なことを活かしてまちをかたちづくっていく
- ・生きるを進化させる株式会社 CNC
- ・地域看護学：人々やコミュニティと協働、効果的な看護を追究
- ・ウェルビーイング：社会的にも健康である必要性 GDP から GDW（国内総充実）へ SDGs から SWGs へ
- ・つながりとフレイル つながりが希薄になることからフレイルは始まる つながりおせっかい
- ・ウェルビーイングの対義は孤独であるという意見 小さなコミュニティをいろんな地域に
- ・ふくまち大学コミュニティナース学科主催 おせっかい増やし 門下生がこみなす屋を展開
- ・企業（社員）の健康 50名未満の企業に医療ニーズあり 社長が社員の健康対応に困っている 企業内保健室
- ・福井県は幸せ実感社会を目指している 子どものウェルビーイング世界最下位
- ・がんコミュニティ「がんコミ」
- ・ユース保健室プロジェクト 若者（中高生）のたまり場を作る 自習室
- ・秋山正子さんが心の師匠 命の輝きがキラリとする瞬間を引き出すことがケアの本質

<意見交換>

- ・身近な健康相談役としての市民からの期待が多い
- ・鯖江市は地域愛やおせっかいにあふれていて、すでにコミュニティナースが多い！
- ・企業に入ると家族ぐるみの健康ケアができる
- ・暮らしの中で健康問題を解決できれば、予防になる

・地域のつなぎ手＝コミュニティナース。1億総コミュニティナース社会を目指す

コミュニティナースとは地域をヒトとコトをつなぎ、まちを元気にする役割のことで、看護職にこだわるわけではないこと、つなぎ手がヒトにもマチにも重要であることがよくわかる話題提供をいただきました。

加藤さんの持ち前の明るさや距離の縮め方、コミュニティナースとしてこれ以上ないものでした。

皆さんが今回のお話を機に、益々地域をつないでいていただくことを期待したいと思います！

加藤さん、本当にありがとうございます！

事務局で、今回の話を受けてできそうなことがあればどんどんつなげていこうと思います。どうぞよろしく願いいたします。

<活動の共有>

・大人の遠足（コミバスを利用し、市内の名所を巡るツアー）第28弾は3月17日日曜日 7:45 久保田酒店駐車場前集合、第29弾は4月7日予定 ※行きたい場所募集中！

・1月26日金曜日 11時～14時@らてんぼにて大人の遠足新年会 ご参加ありがとうございました

・3月10日日曜日 10時～@夢みらい館さばえ こどもの権利フェス 木下勇氏の講演等あります、ぜひお越し下さい☆

・2月14日水曜日 14時20分～@アルプラザ鯖江2F フレイルチェックあります、ぜひお越し下さい☆